

クリーンキャンペーン

公益社団法人 山梨県整骨師会では3月3日(日)本会の総会が開催され総会の前にボランティア活動の一環として会員108名で山梨市万力公園周辺道路の清掃を行いました。当日は天気にもめぐまれ、清掃には適したものとなりました。会員の尽力のもと周辺道路ならびに歩道がきれいになりました。

クリーンキャンペーンをとおして美化運動の一助になれば幸いです。



第35回関東学術大会群馬大会

去る、平成25年3月10日(日)に行われました。

この大会は関東7県 群馬・千葉・埼玉・神奈川・栃木・茨城・山梨の代表者7名の研究発表の場でもあります。



特別講演
医療法人社団善衆会
善衆会病院
理事長・医院
木村雅史先生

講座内容

一般公開講座

「膝と腰の痛み ーその病態と治療ー」

講義内容

子供からお年寄りまでを対象に、膝と腰の疾病、およびスポーツ外傷・障害について

なお来年、平成26年3月9日には本県主管で関東学術大会が開催予定でございます。

場所は南アルプス市、桃源文化会館の予定です。

編集後記

本会も公益社団法人に移行し皆様方のご協力により、一年を迎えることが出来ました。周年行事も滞りなく挙行できこれからも医療のみにかぎらず介護予防、福祉の分野に於いても地域に根づいた活動を視野にいれて取り組んでいく所存です。

発 行	公益社団法人山梨県整骨師会
発行責任者	向山一夫
編集責任者	清水 隆
連絡先	甲府市中央4丁目12-21 TEL 055-232-5487 FAX055-232-5482 http://www4.ocn.ne.jp/~yamanasi/top-index.html



平成25年 4月
公益社団法人
山梨県整骨師会

(公社)山梨県整骨師会、社団法人設立60周年記念式典が開催



平成24年10月21日(日)、公益社団法人山梨県整骨師会 社団法人設立60周年並びに公益社団法人移行設立記念式典・祝賀会が盛大に行われました。

はじめに清水隆副会長から開会の辞が述べられ、国歌が斉唱された。

式辞として壇上に立った向山一夫会長は“ご多忙の折にも関わらず、各界のご来賓の方々にご臨席を賜り、盛大な式典を挙行させていただくことを衷心より御礼申し上げます”と感謝の意を述べ、山梨県整骨師会の母体である山梨県接骨師組合の発足当時から現在までの歴史を振り返りながら“今年で60周年を迎えました。当会は県民の皆様の健康と福祉の増進に貢献していくために、平成23年6月13日、大規模災害時の傷病や応急救護に備えた災害協定を県と締結しました。

そして平成24年1月13日、山梨県知事より公益社団法人移行の答申を受け、平成24年4月1日付で公益社団法人山梨整骨師会として新たにスタートしました。現在、当会は公益目的事業を、①柔道整復療養費受領委任払い制度の適正化、②柔道整復術の医学的研究、③県民の健康保護および青少年の健全育成の3つに大別し、公益法人の役割の重要性を十分認識して、会員一同柔道整復師としての社会的使命を果たしていく所存です”と公益社団法人に移行し、今まで以上に地域住民の健康維持に尽くしていくと熱く意気込みを述べた。

続いて表彰状の授与、受賞者代表謝辞が行われた後、来賓祝辞が述べられた。

民主党衆議院議員(元環境大臣)・小沢銳仁議員は“皆さんには地域の保健医療分野でご活躍頂いていますが、同時に向山会長を中心に社会活動として少年柔道大会などのボランティア活動にもしっかりと取り組まれています。そのような姿に心から敬意と感謝を表し、公益社団法人への移行をお祝い申し上げます。皆さんが地域医療の中核となって、これからも活躍していただくことが必要だと感じています。私も精一杯バックアップさせていただくことをお誓い申し上げます”と力強く述べた。

公益社団法人日本柔道整復師会・萩原正会長からは“この式典を迎えられましたことは、歴代会長や役員の方々が残された功績を継承された向山会長をはじめ、会員の皆様の弛まぬ努力の賜物です。私ども柔道整復業界は柔道整復師の法的根拠を得て以降、国民皆保険の普及に協力することで体を成し、職能団体としての地位を確保したと自負しています。そして高度成長期に全国の柔道整復師会が次々と社団法人へ組織替えていくなかで社会貢献を強く意識するようになりました。しかし平成に入り、柔道整復師の養成校乱立や事業仕訳に象徴される療養費削減など、業界を取り巻く社会環境は悪化の一途を辿っています。

そんな中、貴会は平成24年4月に公益社団法人として時代の要請に適う組織に新しく移行されました。組織としてさらに不特定多数の方々に利益を目に見える形で提供するのが公益社団法人に課せられた責務と自覚し、医療人として国民の期待に尽くしていただきたい”と激励した。

その他にも山梨県福祉保険部・三枝幹男部長、山梨県議会(元議長)・臼井成夫議員、山梨県労働局・島浦幸雄局長、太田整形外科院長／元山梨県議会議長・太田道夫氏が祝辞を述べ、山梨県整骨師会の功績を讃えた。

その後、設立60周年と公益社団法人移行という節目を祝うために全国から駆け付けた大勢の来賓が紹介され、閉式の辞として同会の大澤正英理事より“60周年に祭し、お祝いの言葉、激励の言葉をいただき有難うございます。今年度より公益社団法人を設立し、向山会長をはじめ会員一同頑張っております。これからも諸先生方の御指導ご鞭撻を賜りながら一生懸命邁進していきます”と述べられ、会場は大きな拍手に包まれた。

記念式典終了後、別会場にて祝賀会が盛大に催され、出席者は共に喜びを分かち合った。



記念講演(公開講座)

【演題】

糖尿病の基礎知識・予防医学の観点から。



【講師】

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

統括産業医 大室 正志 先生

【講師紹介】

山梨県南都留郡富士河口湖町出身

2005年 産業医科大学 医学部医学科卒業。

産業医科大学産業医実務研修センターなどを経て2009年より現職。

専門は産業医科実務。生活習慣病対策、メンタルヘルス対策、インフルエンザ対策など企業に於ける健康リスク低減に従事。

著書:メンタルヘルス対策「使える!健康教育・労働衛生教育35選」

(共著 日本労務研究会)

【講師内容】

近年厚生省主導でスタートした特定健診・特定保険指導などでもメタボリックシンドローム対策として、高血圧・高脂血症と並び糖尿病対策が挙げられており、その重要性が指摘される機会が増えています。

本講座では日常社員の生活習慣病対策に従事する産業医として予防医学の観点から、食事と血糖の関係など日常生活で関わる部分から糖尿病の病態まで分かりやすくお話をさせていただきます。

総務部 紙勲受賞祝賀会

西村政重相談役の「旭日双光章」受賞祝賀会が平成25年2月24日(日)ハイランドリゾートホテルに於いて、山梨県知事 横内正明様、衆議院議員 長崎幸太郎様、富士吉田市長 堀内茂様、県議会議員 白井成夫様、公益財団法人日本柔道整復師会 萩原正会長を始め北は北海道から南は九州迄大勢の皆様方にご出席を頂き盛大に開催され多くの方々から祝辞がよせられました。

富士山に雲一つなく御祝いの日に相応しい晴天で皆さんが感激していました。

これからも西村政重相談役には益々お身体に留意され業界の発展と地域医療にご尽力されることを祈念いたします。



学術部より

公益法人山梨県整骨師会学術部では、学術の向上事業(学術大会等)・介護関連事業(高齢者体操教室等)・災害対策事業(公開講座等)の公益事業を推進しております。
先日行われました事業について報告いたします。

第二回学術大会公開講座

平成25年3月3日(日)山梨市市民会館3階 千鳥の間にて執り行いました。

第1発表

「介護予防に於ける機能回復訓練について」 小山 真史会員



第2発表

「大腰筋強化指導による腰痛予防と運動機能向上について」 中嶋 宏会員

第3発表

「就寝時の生活指導」 古屋 悟会員



第4発表

「小児外踝剥離骨折と足関節捻挫に関する私的考察」 渡辺 秀樹会員

と、4名の会員からの論文発表があり、有意義な意見の論議がなされました。

地域の福祉関連事業への参加

山梨県下で地域の保健、福祉関連行事に参加し、転倒予防体操の実演、体力測定等を行っています。
(現在 山梨市・鳴沢村で実施)



山梨市「地域元気あっぷ体操教室」

毎月一回山梨市庁舎保健センターにて「高齢化による、バランス能力・移動歩行能力の低下を防ぎ、閉じこもり・転倒リスクの解消転倒防止」をスローガンに体操教室を開催しております。

鳴沢村「元気あっぷ体操教室」

平成25年2月28日より3月28日まで毎週木曜日 鳴沢村総合センターにて山梨市と同様の体操教室を開催しました。多数の参加者があり、健康的な体作りに邁進しております。